

# 第35期 第2四半期報告書

平成24年4月1日～平成24年9月30日

 **大阪製鐵株式会社**

- 01 株主の皆様へ
- 03 財務ハイライト(連結)
- 04 第2四半期決算概要
  - 四半期連結貸借対照表
  - 四半期連結損益計算書
  - 四半期連結キャッシュ・フロー計算書
- 06 グループ会社(連結対象)の概要
- 07 トピックス
- 08 株式の状況
- 09 会社の概要
- 10 お知らせ

# トータルコストのミニマム化を追求するとともに、商品の差別化・高級化、国際事業の展開等を推進し、将来にわたる盤石な事業基盤の確立を図る

## ■当期の経営成績

鋼材市況の軟化や厳しい輸出環境の継続、電力・エネルギーコスト上昇など極めて厳しい状況が続くなか、一定の収益を確保

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要による緩やかな景気の持ち直しの動きが見られたものの、円高の長期化や欧州債務危機に端を発した世界経済の停滞により、輸出環境が一段と悪化したことに加え、エネルギーコストが上昇するなど、依然として厳しい状況が継続いたしました。

鉄鋼需要につきましては、復興需要や住宅・設備投資の回復等から建設分野を中心とした増加が見られた一方、世界経済の減速や円高の定着に加え、アジアにおける供給過剰感が高まるなど、先行き不透明な状況が継続いたしました。

当社の属する普通鋼電炉業界につきましては、主原料である鉄スクラップ市況の変動影響による鋼材市況の軟化や厳しい輸出環境の継続、電力・エネルギーコストの上昇など、一段と厳しい経営状況となりました。

当社グループは、この厳しい市場環境においても商機を得るべく、生産・販売・調達一体となったきめ細かな対応を図りながら、あらゆる無駄排除に取り組むGo

ZERO活動を強化・推進し、徹底したコスト削減を進めると同時に、超高層ビル向けエレベータガイドレール等、当社独自差別化商品の拡販に取り組むなど、収益確保に取り組んでまいりました。

この結果、前年同期と比べて減収ながらも、一定の収益を確保することができました。

当第2四半期連結累計期間の当社グループにおける鋼材売上数量は45万5千トン（前年同期実績44万3千トン）、売上高は317億3千5百万円（前年同期実績364億9千5百万円）、経常利益は23億1千3百万円（前年同期実績35億2千万円）となりました。また、繰延税金資産の一部取崩しを実施した結果、四半期純利益につきましては8億6千1百万円（前年同期実績20億円）となりました。

## ■株主還元

中間配当金は1株につき7円50銭

配当につきましては、業績に応じて行うべきものと考えております。当第2四半期末（中間期末）の1株あたりの配当は7円50銭とさせていただきます。

なお、期末配当予想につきましては、需要環境等の先

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社第35期第2四半期累計期間（平成24年4月1日から平成24年9月30日）の決算を終了いたしましたので、ここに営業の概況と諸計算をご報告申し上げます。

# OSAKA STEEL REPORT

行きが極めて不透明な状況にあることから、現時点では未定とし、収益見通しが明らかになった時点で改めて検討・公表させていただきます。

## ■今後の見通し

トータルコストのミニマム化を追求し、商品の差別化・高級化や国際事業の展開、各社とのアライアンス等を推進する

当期におけるわが国経済は、復興需要による国内景気の下支えが期待される一方、引き続き欧州債務危機の長期化やアジア経済の成長鈍化などが懸念されるとともに、自動車生産の減少などによる国内需要の軟化や日中関係の影響など、依然として景気下振れリスクが存在しております。

また、当社グループを取り巻く経営環境につきましては、造船・電気機械など製造業向けを中心とした国内需要の停滞や輸出環境の悪化などに加え、鉄スクラップ価格の大幅な変動や電力・エネルギーコストの上昇などの不安要因が懸念されるなど、先行きの不透明感が一層強まることも予想されます。

このような経営環境を踏まえ、今後、当社グループは

商品力強化等による営業基盤の拡大・強化を図るとともに、引き続きGo ZERO活動の更なる深化・発展に取り組みながら、トータルコストのミニマム化を追求し、強靱なコスト競争力を確立してまいります。

更に、いかなる環境変化にも対応できる経営基盤の構築と成長機会を追求するため、商品の差別化・高級化の一層の推進を図り、国際事業の展開や各社とのアライアンス等についても、引き続き強力で推進してまいります。

こうした努力の結果、平成25年3月期通期連結業績予想につきましては、売上高640億円、経常利益50億円となる見通しです。

なお、スクラップ価格が想定よりも低く推移しているため、第3四半期以降の販売価格前提を見直した結果、売上高の予想を修正しております。（前回売上高690億円）

株主の皆様には、一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長

内田純司



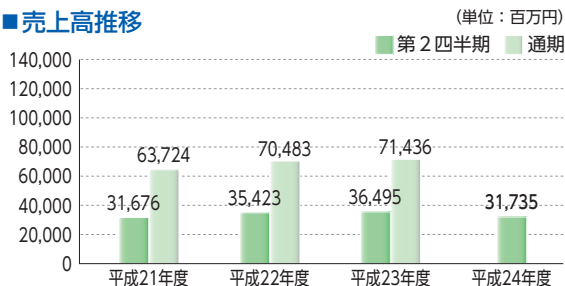
## 03 財務ハイライト (連結)

### ■ 主要経営指標

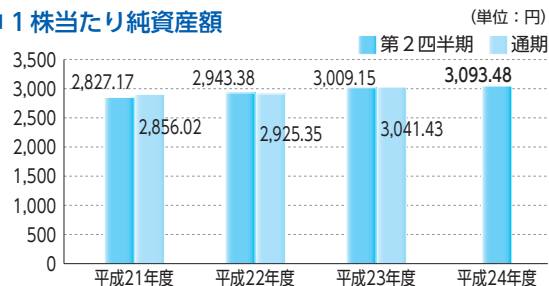
	平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度
	第2四半期	通 期	第2四半期	通 期	第2四半期	通 期	第2四半期
売上高 (百万円)	31,676	63,724	35,423	70,483	36,495	71,436	31,735
経常利益 (百万円)	5,082	7,628	4,393	7,068	3,520	6,015	2,313
第2四半期(当期) 純利益(百万円)	2,943	4,284	3,978	3,916	2,000	3,605	861
純資産額 (百万円)	118,062	119,174	122,746	121,165	120,672	121,875	120,831
総資産額 (百万円) ※(期末休日影響除き)	134,583	135,485	137,945	137,403	136,552	139,889 (137,447)	137,371 (135,096)
1株当たり純資産額(円)	2,827.17	2,856.02	2,943.38	2,925.35	3,009.15	3,041.43	3,093.48
自己資本比率 (%) ※(期末休日影響除き)	86.7	87.0	88.1	87.9	88.0	86.8 (88.4)	87.7 (89.1)
従業員数 (名)	717	706	719	704	713	697	701

※前連結会計年度末日及び当第2四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、債権債務の一部について期末日日期のものが前連結会計年度末残高及び当第2四半期連結会計期間末残高に含まれております。( )内はその影響を除いたものです。

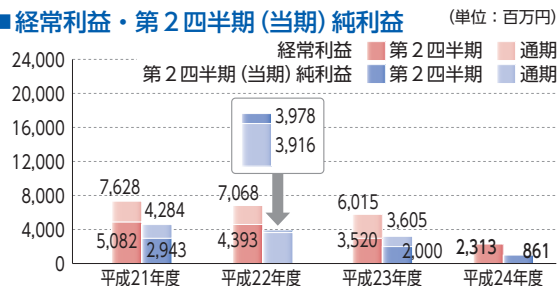
### ■ 売上高推移



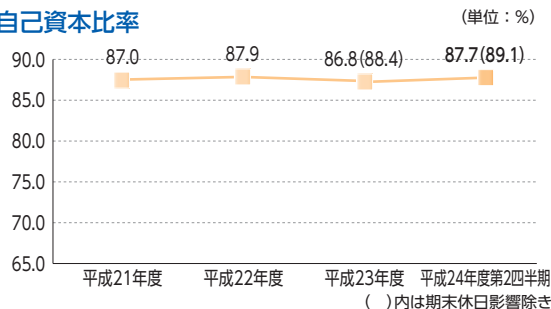
### ■ 1株当たり純資産額



### ■ 経常利益・第2四半期(当期) 純利益



### ■ 自己資本比率



## ■ 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

期 別 科 目	前第2四半期末	当第2四半期末	前年度末
	(平成23年9月30日現在)	(平成24年9月30日現在)	(平成24年3月31日現在)
	金 額	金 額	金 額
<b>(資産の部)</b>			
流動資産	79,930	81,800	83,735
現金及び預金	365	722	434
受取手形及び売掛金	21,881	22,368	25,993
棚卸資産	11,088	11,281	11,831
繰延税金資産	400	352	419
預け金	46,066	46,967	44,917
その他	132	109	143
貸倒引当金	△ 3	△ 3	△ 4
固定資産	56,621	55,571	56,153
有形固定資産	44,870	44,007	44,331
建物及び構築物	5,798	5,536	5,637
機械装置及び運搬具	8,738	8,082	8,344
工具器具及び備品	849	794	751
土地	29,186	29,186	29,186
建設仮勘定	297	406	412
無形固定資産	16	16	16
その他	16	16	16
投資その他の資産	11,735	11,547	11,805
投資有価証券	1,099	1,026	1,185
長期貸付金	5	4	5
関係会社長期貸付金	10,000	10,000	10,000
繰延税金資産	271	168	237
その他	441	379	460
貸倒引当金	△ 83	△ 32	△ 83
資産合計	136,552	137,371	139,889

※(期末休日影響除き) (135,095) (137,447)

※前連結会計年度末日及び当第2四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、債権債務の一部について期末日日期のものの前連結会計年度末残高及び当第2四半期連結会計期間末残高に含まれております。( )内はその影響を除いたものです。

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

期 別 科 目	前第2四半期末	当第2四半期末	前年度末
	(平成23年9月30日現在)	(平成24年9月30日現在)	(平成24年3月31日現在)
	金 額	金 額	金 額
<b>(負債の部)</b>			
流動負債	11,943	12,613	14,310
支払手形及び買掛金	7,382	8,185	9,366
未払法人税等	1,446	828	1,191
修繕引当金	1,053	934	1,136
その他	2,061	2,665	2,616
固定負債	3,936	3,925	3,703
繰延税金負債	1,857	2,072	1,652
退職給付引当金	1,639	1,612	1,590
役員退職慰労引当金	155	156	176
その他	284	83	283
負債合計	15,880	16,539	18,013
<b>(純資産の部)</b>			
株主資本	119,867	120,109	121,072
資本金	8,769	8,769	8,769
資本剰余金	10,648	10,648	10,648
利益剰余金	103,550	105,219	104,757
自己株式	△ 3,101	△ 4,527	△ 3,102
その他の包括利益累計額	325	305	407
その他有価証券評価差額金	325	305	407
少数株主持分	479	416	395
純資産合計	120,672	120,831	121,875
負債及び純資産合計	136,552	137,371	139,889

※(期末休日影響除き) (135,095) (137,447)

## ■ 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

期 別 科 目	前第2四半期 累計期間	当第2四半期 累計期間	前年度
	(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	(自平成23年4月1日 至平成24年3月31日)
	金 額	金 額	金 額
売上高	36,495	31,735	71,436
売上原価	30,899	27,397	61,196
売上総利益	5,595	4,338	10,240
販売費及び一般管理費	2,139	2,137	4,347
営業利益	3,456	2,200	5,892
営業外収益	169	177	336
受取利息及び配当金	62	71	132
雑収益	106	105	203
営業外費用	105	64	214
雑損失	105	64	214
経常利益	3,520	2,313	6,015
特別損失	151	—	151
減損損失	151	—	151
税金等調整前四半期(当期)純利益	3,368	2,313	5,863
法人税、住民税及び事業税	1,438	822	2,614
法人税等調整額	△ 101	607	△ 304
少数株主損益調整前四半期(当期)純利益	2,032	883	3,552
少数株主利益又は少数株主損失(△)	31	21	△ 52
四半期(当期)純利益	2,000	861	3,605

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

■ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 (自平成24年4月1日  
至平成24年9月30日)

(単位：百万円)

科 目	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー (期末休日影響除き(※1))	5,065 (5,210)
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 902
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,824
現金及び現金同等物(※2)の増減額 [45,351→47,690] (期末休日影響除き(※1)) [47,605→50,089]	2,338 (2,483)

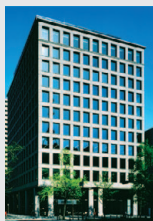
※1 前連結会計年度末日及び当第2四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、連結キャッシュ・フロー計算書は債権債務の一部について期末日日期のものが未決済になっております。  
( )内はその影響を除いたものです。

※2 現金及び現金同等物には預け金を含んでおります。

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。



大阪製鐵グループは、当社を中心として平鋼・各種異形鋼を製造する日本スチール、鉄筋コンクリート用棒鋼を製造する新北海鋼業、製品の輸送機能を担う大阪新運輸及び西鋼物流、グループ全体の商事部門となる大阪物産の各子会社で構成され、生産から販売・物流までのトータルな事業体制によって、着実な発展を続けてきました。



### 大阪物産株式会社

〒541-0045  
 大阪市中央区道修町三丁目6番1号  
 京阪神御堂筋ビル13階  
 TEL.06-6223-1081 FAX.06-6223-1050

- 資本金 120百万円
- 当社の持株比率 100%
- 主要な事業内容 鋼材及び製鋼、原材料等の売買

### 大阪新運輸株式会社



〒590-0901  
 大阪府堺市堺区築港八幡町1番地  
 TEL.072-226-6790 FAX.072-226-6792

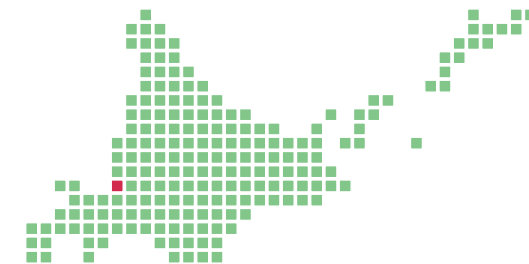
- 資本金 194百万円
- 当社の持株比率 100%
- 主要な事業内容 鋼材の運送及び構内作業

### 日本スチール株式会社



〒596-0013  
 大阪府岸和田市臨海町11番地  
 TEL.072-423-5151 FAX.072-439-8357

- 資本金 498百万円
- 当社の持株比率 100%
- 主要な事業内容 平鋼の製造販売



### 新北海鋼業株式会社



〒047-0261  
 北海道小樽市銭函三丁目520番地3  
 TEL.0134-62-5141 FAX.0134-62-5146

- 資本金 490百万円
- 当社の持株比率 70% (間接所有を含む)
- 主要な事業内容 棒鋼の製造販売

### 西鋼物流株式会社



〒869-0417  
 熊本県宇土市境目町300番地  
 TEL.0964-22-3404 FAX.0964-22-3856

- 資本金 50百万円
- 当社の持株比率 100%
- 主要な事業内容 鋼材の運送及び構内作業

# 組織改正について

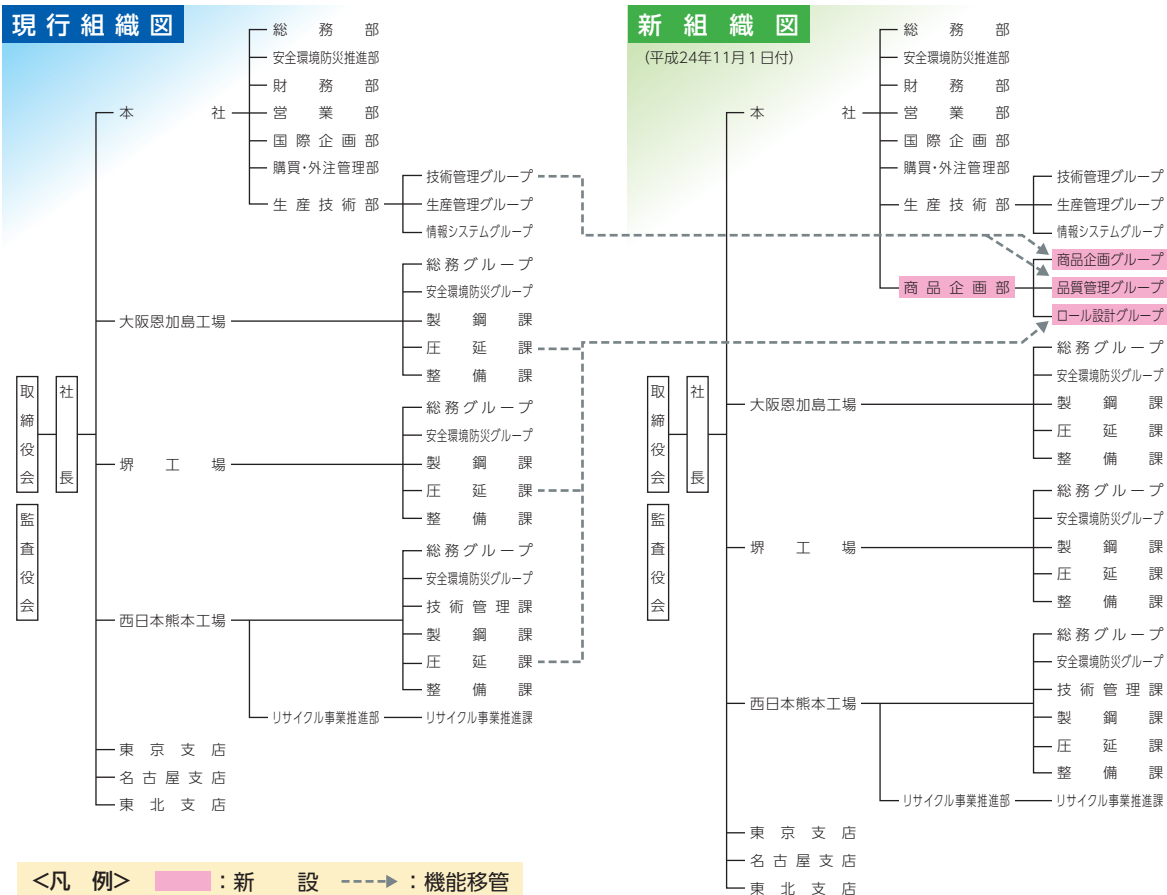
当社は、下記のとおり、平成24年11月1日付で、組織改正を行いましたので、お知らせいたします。

## 組織改正の目的および概要

今後、益々厳しさを増すマーケット環境を考慮しますと、

①新商品開発の強化・充実 ②品質・顧客サービスの更なる向上 ③これらを支える、ロール設計技術の維持・継承・強化が、当社の喫緊の課題となっております。

上記を踏まえ、今般、「商品企画部」を新設し、同部の下に、「商品企画グループ」、「品質管理グループ」、「ロール設計グループ」を設置することといたします。





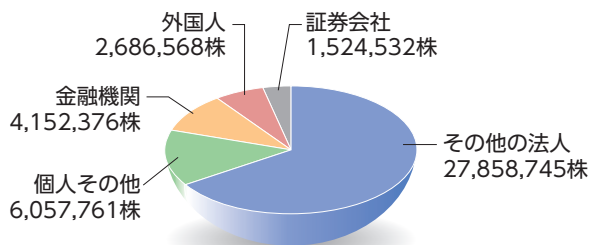
## ■ 株式総数及び株主数

(平成24年9月30日現在)

発行可能株式総数	113,812,700株
発行済株式総数	42,279,982株
株主数	3,534名

## ■ 所有者別株式分布

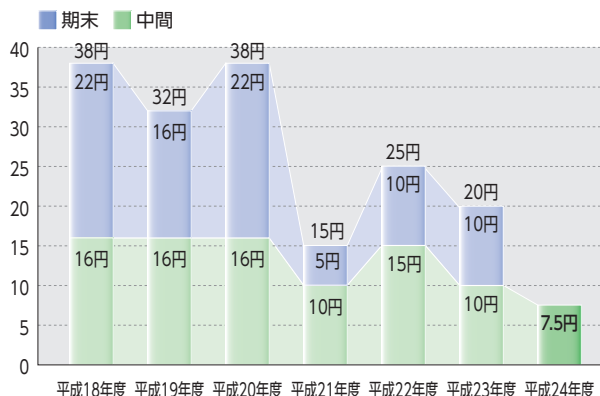
(平成24年9月30日現在)



(注) 自己株式3,354,706株は「個人その他」に含めています。

## ■ 配当金推移

(平成24年9月30日現在)



## ■ 大株主 (上位10名)

(平成24年9月30日現在)

株主名	持株数	持株比率
新日鐵住金株式会社	25,629 千株	65.84 %
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	1,827	4.69
立花証券株式会社	1,193	3.06
資産管理サービス信託銀行株式会社	824	2.11
ロイヤルバンクオブカナダトラストカンパニー (ケイマン) リミテッド	706	1.81
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	622	1.59
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFORIO	594	1.52
株式会社三菱東京UFJ銀行	504	1.29
三井物産スチール株式会社	480	1.23
株式会社メタルワン	309	0.79

- (注) 1. 持株数は千株未満を切捨てて表示しております。  
 2. 上記大株主には、自己株式 (3,354千株) は含まれておりません。  
 3. 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。  
 4. 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社、資産管理サービス信託銀行株式会社、日本マスタートラスト信託銀行株式会社は、信託業務に係る株式であります。  
 5. 新日本製鐵株式会社は平成24年10月1日をもって住友金属工業株式会社と合併し、商号を新日鐵住金株式会社に変更しております。

## ■ 会社概要

(平成24年9月30日現在)

設立	昭和53年5月15日
資本金	8,769,337,500円
営業品目	等辺山形鋼、不等辺山形鋼、溝形鋼、I形鋼 丸鋼、異形棒鋼、鉄筋用機械式継手、レール レール用継目板、エレベータガイドレール素材及び加工品 カラーアングル、カラーチャンネル その他各種加工製品、ビレット等鉄鋼半製品
従業員	447名(嘱託及び出向者を含めておりません)
ホームページ	<a href="http://www.osaka-seitetu.co.jp">http://www.osaka-seitetu.co.jp</a>
本社	〒541-0045 大阪市中央区道修町三丁目6番1号 (京阪神御堂筋ビル13階) 電話 (06)6204-0300 (代表)
大阪恩加島工場	〒551-0021 大阪市大正区南恩加島一丁目9番3号 電話 (06)6552-1448 (代表)
堺工場	〒590-0901 大阪府堺市堺区築港八幡町1番地 電話 (072)233-3901 (代表)
西日本熊本工場	〒869-0417 熊本県宇土市境目町300番地 電話 (0964)22-3111 (代表)
東京支店	〒104-0031 東京都中央区京橋二丁目5番18号 (京橋創生館4階) 電話 (03)5579-9780 (代表)
名古屋支店	〒450-0003 名古屋市中村区名駅南二丁目13番18号 (NSビル7階) 電話 (052)586-2319 (代表)
東北支店	〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町三丁目6番1号 (平和ビル9階) 電話 (022)395-5432 (代表)

## ■ 取締役及び監査役

(平成24年9月30日現在)

代表取締役社長	内田純司
取締役副社長	調和郎
常務取締役	中村たつひこ
常務取締役	樫尾茂樹
常務取締役(非常勤)	櫻井勤
取締役	永広和夫
取締役	柳井純
監査役	清藤貴博
監査役(非常勤)	和田壮史
監査役(非常勤)	幸野誠司

(注) 監査役和田壮史、幸野誠司の両氏は社外監査役であります。

## ■ 執行役員

(平成24年9月30日現在)

上級執行役員	吉田学史
上級執行役員	木内啓嗣
執行役員(非常勤)	吉田言
執行役員	大住昌弘
執行役員	若月輝行

## ■ 単元未満株式の買取請求のお取扱いについて

株主様が単元未満株式の売却をご希望の場合に、当社がその株式を買取らせていただく単元未満株式の買取請求制度につきまして、ご案内申し上げます。

### 【買取請求制度について】

100株未満の株式を、当社に対して市場価格で売却することができます。

株主様の100株未満の株式

当社に市場価格で売却

### 現金化

(例) 80株を保有の場合、市場では売却できませんが、市場価格で当社が買い取りいたします。

※ 買取制度をご利用の際は、当社所定の手数料及び消費税をご負担いただきます。

単元未満株式の買取に関する手続きについての取扱い場所、お問い合わせ先は以下のとおりです。

- ① 証券会社口座にある株式 ⇒ お取引先の証券会社
  - ② 特別口座にある株式 ⇒ 三井住友信託銀行
- (\*下記までお問い合わせください。)

#### 【受付場所及び郵便物送付先】

1. 受付場所 三井住友信託銀行株式会社 本店及び全国各支店
2. 郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
(証券代行事務センター)  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 買取担当

#### 【お問い合わせ先】

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話0120-782-031(フリーダイヤル)

## ■ ホームページのご案内

当社ホームページでは、株主・投資家の皆様に対して、より充実した会社情報やIR情報等をお伝えるため、リニューアルを行いました。また、当社の製品情報や工場を紹介した動画も掲載しておりますので、ぜひご覧ください。



 <http://www.osaka-seitetu.co.jp>

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日
定時株主総会開催時期	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
同取次所	三井住友信託銀行株式会社 本店及び全国各支店
1単元の株式の数	100株
公告の方法	電子公告(当社ホームページに掲載) ※電子公告によることができないときは、日本経済新聞に掲載して行います。
上場証券取引所	東京・大阪証券取引所各市場第一部

- 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について  
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払いについて  
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



この冊子はユニバーサルデザイン(UD)書体を使用し、弱視・老眼等視力の低下にお悩みの方にも読みやすいよう配慮をしています。